

東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部について

本院薬剤部
葛飾医療センター薬剤部
第三病院薬剤部
柏病院薬剤部

慈恵医大について



学祖 高木兼寛

病院の理念

「病気を診ずして病人を診よ」の教えに基づき、質の高い医療を実践し、医療人を育成することにより、社会に貢献し、患者さんや家族から信頼される病院をめざす。

病院の基本方針

1. 患者さんや家族が満足する良質な医療を実践する。
2. 先進医療の開発・導入など、日々、医療水準の向上に努める。
3. 優れた技能を身につけ、豊かな人間性と倫理観を兼ね備えた医療人を育成する。
4. 地域社会と連携し、きめ細かな医療サービスを提供する。
5. 全職員が誇りをもって働ける職場づくりを実践する。

慈恵医大病院薬剤部を志望される皆様へ

医療を取り巻く環境、患者ニーズは年々変化し続けており、薬剤部の業務も、調剤、薬品管理、病棟薬剤業務、チーム医療、医療安全、感染対策と多岐にわたっております。

慈恵医大附属病院薬剤部は、患者さんや医療スタッフから信頼され、安心安全な薬物療法の推進に努めています。

また、時代の変化に柔軟な対応がとれるよう、スタッフが高い専門性を身につけ活躍できるよう教育体制を整えるとともに、4機関薬剤部において研修や人事交流など連携し、薬学部学生の指導・教育、医療の発展のための臨床研究、地域の医療機関や保険薬局との連携等を通じ、社会貢献を果たす薬剤部を目指しています。



薬剤部部長
川久保 孝

各機関の紹介

1. 附属病院(本院)
2. 葛飾医療センター
3. 第三病院
4. 柏病院

東京慈恵会医科大学附属病院(本院)



病床数: 1075床

診療科: 36科

1日平均患者数

入院患者数 約900名

外来患者数 約2,800名

年間手術件数 約14,000件

薬剤師数: 68名

当院は、特定機能病院であり、画像機器など最新の医療・検査機器導入や、治験センターによる最新の薬物治療など、先進的医療の開発にも積極的に取り組むとともに、チーム医療を通じて行うことにより、患者さんが安心して医療を受けられる環境を整えております。

入院病棟は中央棟、E棟、産科医療・周産期医療を担う母子健康医療センターなど1,075ベッドを有しています。

外来診療では、患者さんのニーズに合わせて臓器別(疾患別)の診療科方式を採用し、機能別外来を開設しています。また、休日においても24時間体制の救急外来を行っております。

医療が急速に高度化、複雑化しているなか、良質・安全な医療の提供ならびに低侵襲的治療や先進医療の実践を推し進めて、21世紀をリードする大学附属病院を目指しています。

附属病院(本院)

外来棟



N棟(母子医療センター・新橋健診センター)



入院棟フロア

東京慈恵会医科大学附属病院(本院)薬剤部

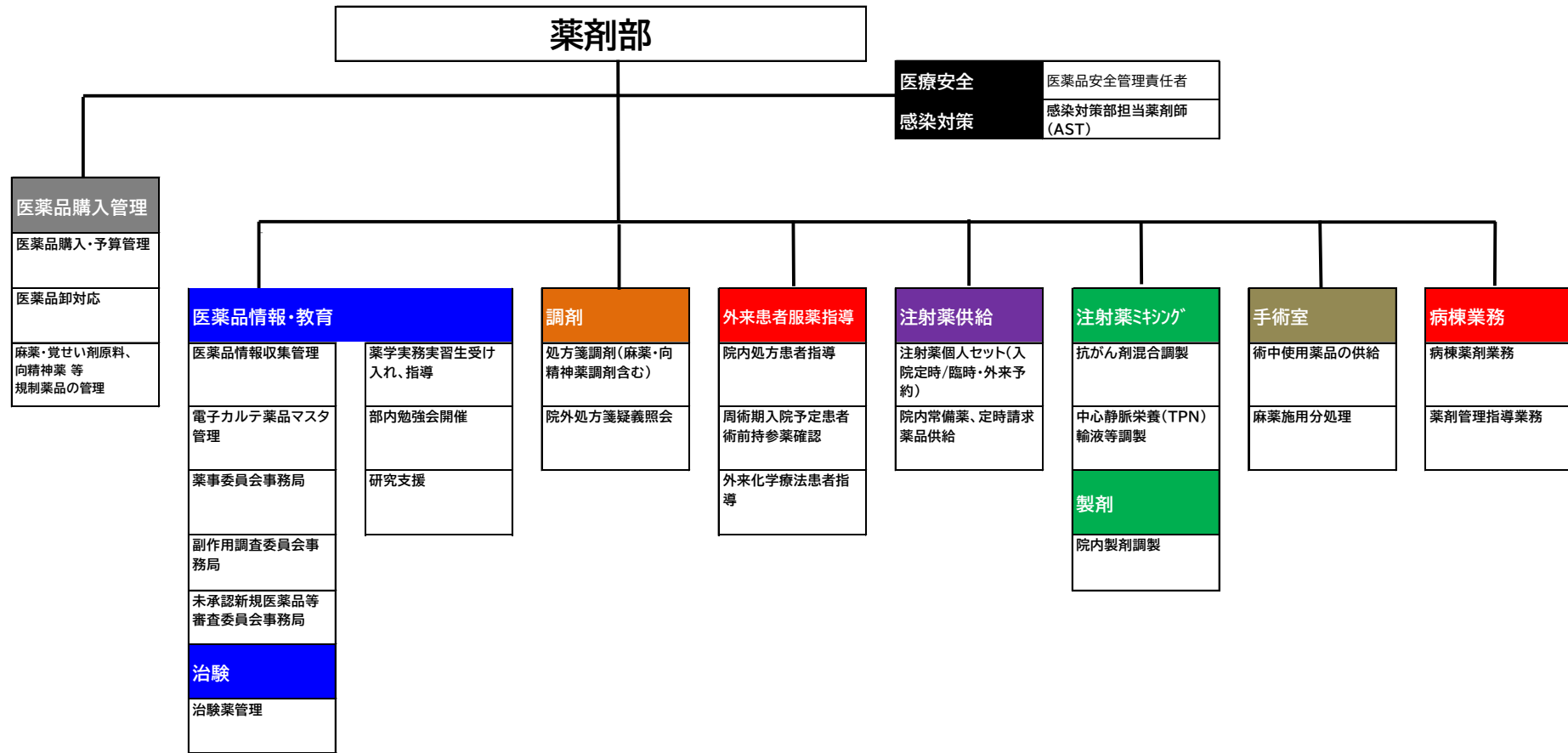
ビジョン

高度・複雑化する薬物治療に、
高い専門知識と豊かな人間性で貢献する。

サブテーマ

1. 医薬品の適正使用を推進し、医薬品安全管理を
実践する。
2. 他の医療スタッフと協力しチーム医療を推進する。
3. 医療人としての自覚と責任感をもち、自己研鑽に
努め社会に貢献する。

薬剤部組織図



- ・薬剤部の組織は、業務単位で8つの部門に分かれています。
- ・スタッフの多くは病棟業務を兼任しており、中央の処方箋調剤等の業務も定期的にローテを行いながら、経験値に偏りがないよう人員配置を行っています。

調剤室(処方箋調剤業務)



散薬調剤ロボット
DimeRo(ディメロ)

- ・電子カルテ処方オーダーシステムが整備されており、処方監査に必要な情報は、処方箋や調剤室内の端末に表示され、薬剤師の処方監査を支援する仕組みが構築されています。
- ・計量調剤では散薬、水剤の監査システムが、計数調剤でも自動調剤装置を導入するなど機械化を進めています。

注射調剤室(注射薬供給業務)



- ・処方箋の薬用量, 投与期間, 投与方法等の確認を行った上で患者さんに安全な治療を提供するため, 1日で使用される薬品を個人別にセット供給します。
- ・注射調剤でも注射薬自動取り揃え機を導入して省力化を進めています。
- ・ヒューマンエラーによるピッキングミスをできるだけ少なくして、安全・安心して薬品の取り揃えができるよう環境を整えています。

注射薬無菌調製室(抗がん剤・中心静脈栄養点滴調製業務)



抗がん剤調製室



中心静脈栄養点滴調製室

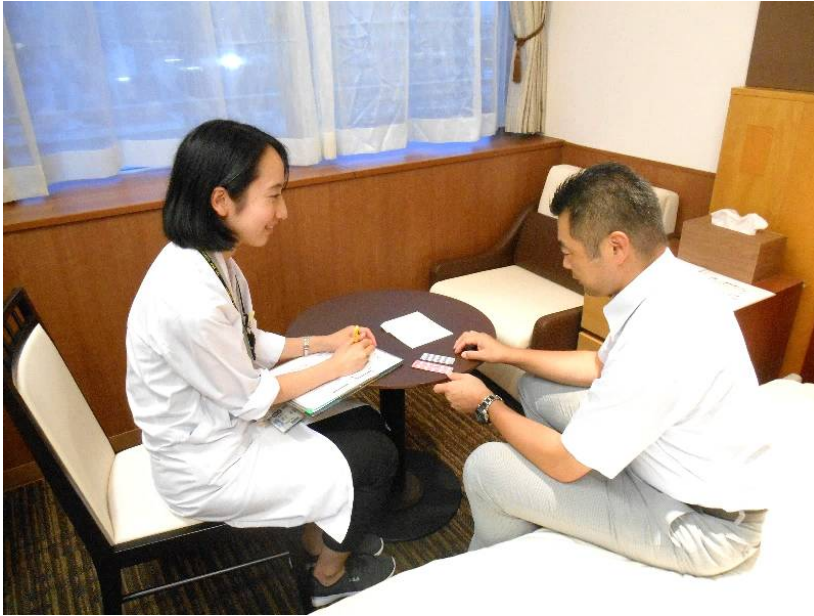
抗がん薬混合調製ロボット
ChemoRo(ケモロ)



- ・中心静脈栄養輸液や無菌病棟で使用する免疫抑制剤の無菌調製、抗がん剤の調製を行っています。
- ・院内で使用する抗がん剤は全て薬剤師が調製しており、全ての薬剤師が調製できるようトレーニングを行っています。
- ・抗がん剤混合調製ロボットChemoRo(ケモロ)を導入し、曝露防止による業務の効率化にも取り組んでいます。

臨床業務（病棟業務、ICU・手術室業務）

附属病院（本院）



- ・院内の全病棟（クリティカル領域含む）に薬剤師を配置し、医師、看護師など他の医療スタッフとも連携し業務を行っており、医療チームの一員として患者さんを支える役割を担っています。
- ・仕事の内容も、持参薬確認、薬歴管理、服薬指導、有効性・安全性チェック、病棟の薬品管理、スタッフへの情報提供、患者状況の把握と処方提案、医薬品の情報収集と医師へ提供など、多岐にわたっています。
- ・手術室に薬剤師を配置し、2交代制で薬品の供給、管理を行っています。

チーム医療への参画



- ・院内にある複数の医療チームに専門薬剤師や認定薬剤師の資格を取得した薬剤師を中心に多くのスタッフが所属し活動しています。



- ✓ 感染対策チーム (抗菌薬の適正使用)
- ✓ がん化学療法レジメン管理チーム
(安全な抗がん剤治療)
- ✓ 栄養サポートチーム (輸液・栄養療法サポート)
- ✓ 疼痛緩和チーム (麻薬、鎮痛補助薬の適正使用)
- ✓ 褥瘡管理チーム (褥瘡治療薬の情報提供)
- ✓ 患者教育チーム

(小児、炎症性腸疾患、認知症ケア、
糖尿病、腎臓病など)



薬剤師としてのスキルアップ

附属病院(本院)

・院内でもそのときどきのトピックス的な内容をテーマに独自の勉強会を開催しています。その他、薬剤師会との合同の研修会の開催、学会に所属し学会への参加や発表を行う機会もあります。



薬剤部勉強会



地域薬剤師会との合同勉強会

認定薬剤師

認定機関	認定・専門薬剤師名	
日本薬剤師研修センター	認定実務実習指導薬剤師	14名
	研修認定薬剤師	38名
	漢方・生薬認定薬剤師	1名
	小児薬物療法認定薬剤師	4名
日本病院薬剤師会	病院薬学認定薬剤師	8名
	がん薬物療法認定薬剤師	2名
	感染制御認定薬剤師	5名
	精神科薬物療法認定薬剤師	1名
	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	1名
	生涯研修履修認定	2名
日本医療薬学会	医療薬学専門薬剤師	4名
	医療薬学指導薬剤師	1名
	薬物療法専門薬剤師	1名
日本臨床栄養代謝学会	栄養サポート(NST)専門療法士	4名
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師	2名
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師	5名
ICD制度協議会	ICD	1名
日本臨床薬理学会	指導薬剤師	1名
厚生労働省	日本DMAT隊	2名
糖尿病療養指導士認定機構	糖尿病療養指導士	4名
臨床救急医学会	認定薬剤師	1名
日本アンチドーピング機構	スポーツファーマシスト	3名
日本医療情報学会	医療情報技師	2名
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療認定薬剤師	1名

学会発表・参加

- ・日本医療薬学会
- ・日本臨床栄養代謝学会
- ・日本緩和医療薬学会
- ・日本臨床薬理学会
- ・日本化学療法学会
- ・日本臨床腫瘍薬学会
- ・日本感染症学会
- ・日本環境感染学会

薬剤部行事

附属病院(本院)

納涼盆踊り



新年会



大江戸温泉

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 薬剤部

- ★ビジョン : 病院の理念に基づき、医療の担い手としての自覚を持ち、豊かな専門知識と高い倫理観をもって最善の薬物療法を提供する。
- ★サブテーマ : 地域薬剤師と連携し、質の良い地域医療環境の実現を目指すとともに、安全で有効かつ高度な医療の実践に貢献する。



葛飾医療センターは、前身の「東京慈恵会医科大学附属中川堤療養所」として開院以来、葛飾区を中心とした区東北部医療圏の中核を担っています。また、患者さんの約80%が葛飾区内から来院される地域密着型の病院です。

- 病床数 : 369床
- 診療科 : 25科
- 病棟数 : 9病棟
- 平均外来患者数 : 1,128名/日*
- 薬剤師数 : 23名

※2020年3月データ

葛飾医療センターへのアクセス

- ◎ 京成線 青砥駅
徒歩10分、バス約6分
- ◎ J R 常磐線 亀有駅
バス約10分



薬剤部概要 (薬剤師23名)

葛飾医療センター



処方箋調剤

葛飾医療センター



院外処方箋発行率

92.3%

院内処方せん

入院 199.0枚/日

外来 47.7枚/日

(2019年度)



■ ロボピックを活用した調剤
(全自動PTPシート払出装置)



■ 秤量調剤
■ 散薬監査システム



■ 水薬監査システム
■ 全自動軟膏練り機

注射薬調剤・無菌調製

葛飾医療センター



注射薬自動払出機 (アンプルピッカー)



入院注射指示票
387.0枚/日

(2019年度)

注射薬の個人セットに
24時間対応しています



安全キャビネット
(バイオハザード用キャビネット室外廃棄型)



★抗癌剤混注

943バッグ/月

★高カロリー輸液混注

121バッグ/月

(2019年度)

病棟薬剤業務



9 A病棟 (AM)

9 B病棟 (PM)

8 A病棟 (AM)

8 B病棟 (PM)

7 A病棟 (AM)

7 B病棟 (PM)

6 A病棟 (AM)

6 B病棟
(病棟カンファレンス毎週月曜日)

ICU病棟 (AM)

専門領域チーム

全病棟（9病棟）に専任薬剤師を配置し、入院患者の薬剤管理を実施している。

*午前常駐： 5病棟

*午後常駐： 3病棟

ICT

がん・緩和

NST・褥瘡

IBD

糖尿病

認知症

PFMと医療連携について

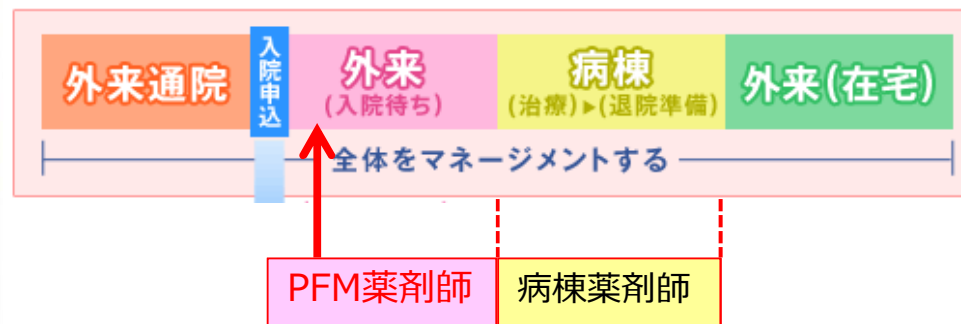
葛飾医療センター

★手術・内視鏡検査予定患者の入院前指導



PFM(Patient Flow Management)とは

PFMの役割



院内外の連携により、入院前から退院後の生活を見据えた切れ目のない医療を提供するシステム

◎手術や内視鏡治療を予定している外来患者さんと面談し、服薬指導を行う

- ①常用薬の確認
- ②一時的に中止する薬およびその休薬期間の確認と指導

→→→ お薬手帳を介して地域医療機関と情報共有

チーム医療活動

(薬剤部員全員が何れかの専門領域チームに所属)

葛飾医療センター

感染制御 (ICT)
チーム



栄養サポートチーム
褥瘡対策チーム



がん緩和ケア
チーム



糖尿病チーム



炎症性腸疾患 (IBD)
サポートチーム



認知症チーム

スキルアップ

葛飾医療センター

- 医薬品情報室勉強会
- 病棟業務症例報告会
- 専門領域チーム症例報告会
- 葛飾区薬剤師合同勉強会
- 薬剤師会主催勉強会
- 製薬メーカー主催勉強会 など

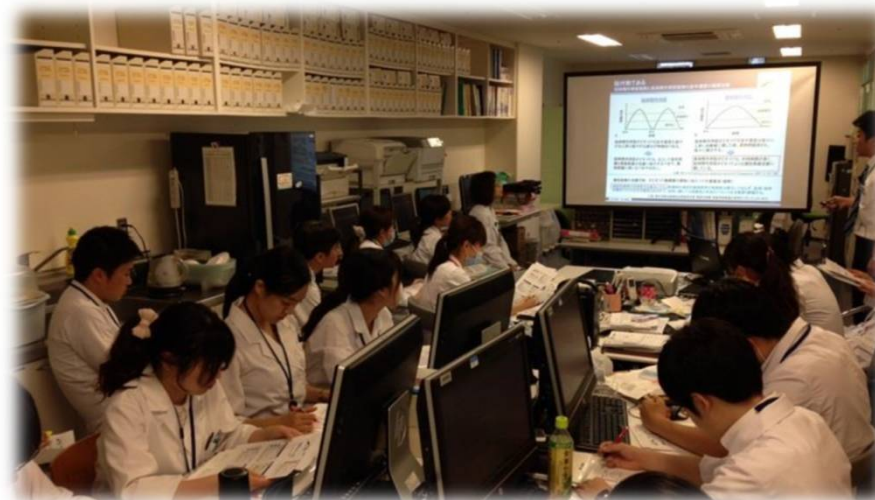
勉強会

- 日本医療薬学会
- 日本緩和医療薬学会
- 日本化学療法学会
- 日本臨床栄養代謝学会
- 日本集中治療学会 など

学会発表・参加

- 日本薬剤師研修センター認定薬剤師 **15名**
- 日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師 **1名**
- 糖尿病療養指導士 **2名**
- NST専門薬剤師 **1名**
- 外来がん治療認定薬剤師 **2名**
- 抗菌化学療法認定薬剤師 **1名**
- スポーツファーマシスト **2名**
- 認定実務実習指導薬剤師 **5名** など

認定薬剤師取得



薬剤部の仲間たち

葛飾医療センター



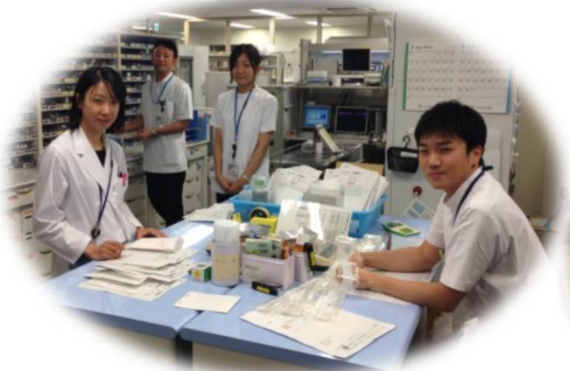
観光スポット♥



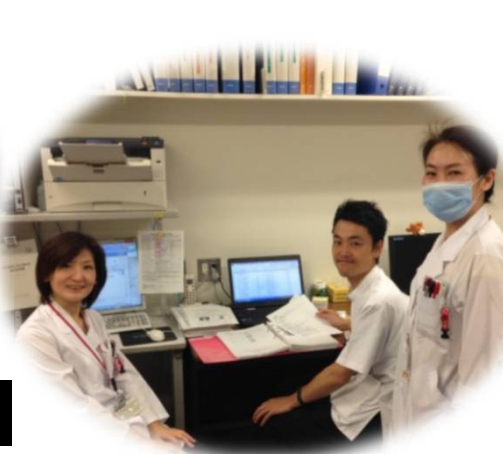
薬剤部懇親会



組合お食事会



仕事中!



チームで勉強会!

葛飾医療センター病院紹介

葛飾医療センター

1階

ロビー



入退院医療連携センター

★患者さんが検査や入院の説明を受けたり、入院の手続きをします。



★プライバシーの保たれた個室の面談室



★薬剤師面談

6階～9階

病棟：369床



6階
小児病棟

★小児科病棟では、病棟内に「水滴や水泡」、「水紋」をデザインした床やドア、照明で子供たちの気持ちを和ませるよう配慮されています。

別館

葛飾医療センター

外来化学療法室（2階）

ベッド数（リクライニングチェア含む）：18台
2019年度外来化学療法件数：5,281件（月平均：440件）



放射線治療 （1階）

最新の放射線治療
機器を導入

★葛飾医療センター別館において、より密接にがんに対する集学的治療を提供しています。



ハイテクナビゲーション手術室

- ・手術室内で最先端の医用画像をもとにリアルタイムイメージング、バーチャリアリティ技術を活用しコンピューター処理結果を術者に画像提供します。
- ・術者が直感的に患部構造を三次元像として把握、ナビゲーション画像を参照し、計画通りの手術へ導くインターフェイスを実装しています。



森田療法センター

森田療法とは、1919年に精神科医の森田正馬によって創始された神経症にたいする精神療法で、不安をかかえながらも生活の中で必要なこと（なすべきこと）から行動し、建設的に生きることを教え、実践させる治療法。「あるがまま」という心を育てることによって神経症（不安障害）をのりこえていくことを主眼としています。

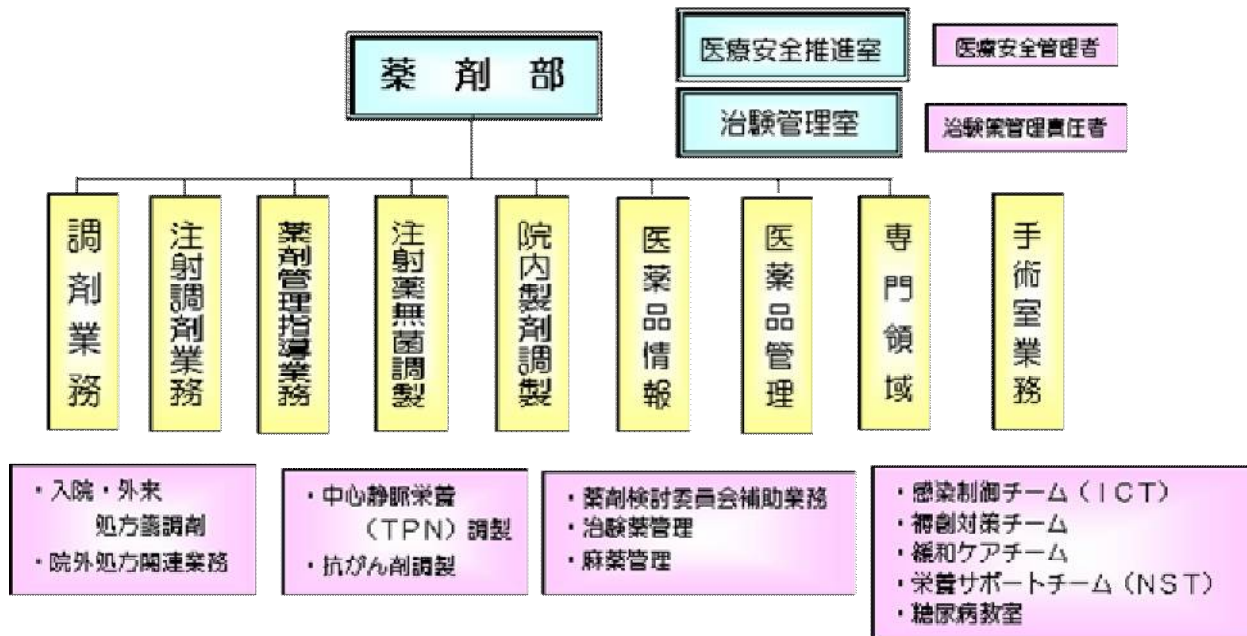
上記の特徴的な施設があり、その他、結核専門病棟も併設され慢性期医療にも幅広く対応しています。調布市、狛江市を中心に世田谷区、多摩地域の急性期および総合医療を担う、二次救急医療機関です。

法令による医療機関の指定

- ・東京都がん診療連携拠点病院
- ・東京都災害拠点病院
- ・東京都神経難病医療拠点病院
- ・東京都周産期連携病院
- ・東京都地域連携型認知疾患医療センター
- ・財団法人日本医療機能評価機構認定施設 等

- ① 専門的な知識・技能の習得
- ② 責任感を持ち妥協しない姿勢
- ③ 業務効率を実現する創意工夫
- ④ 地域薬剤師会との連携強化

薬剤部主要業務

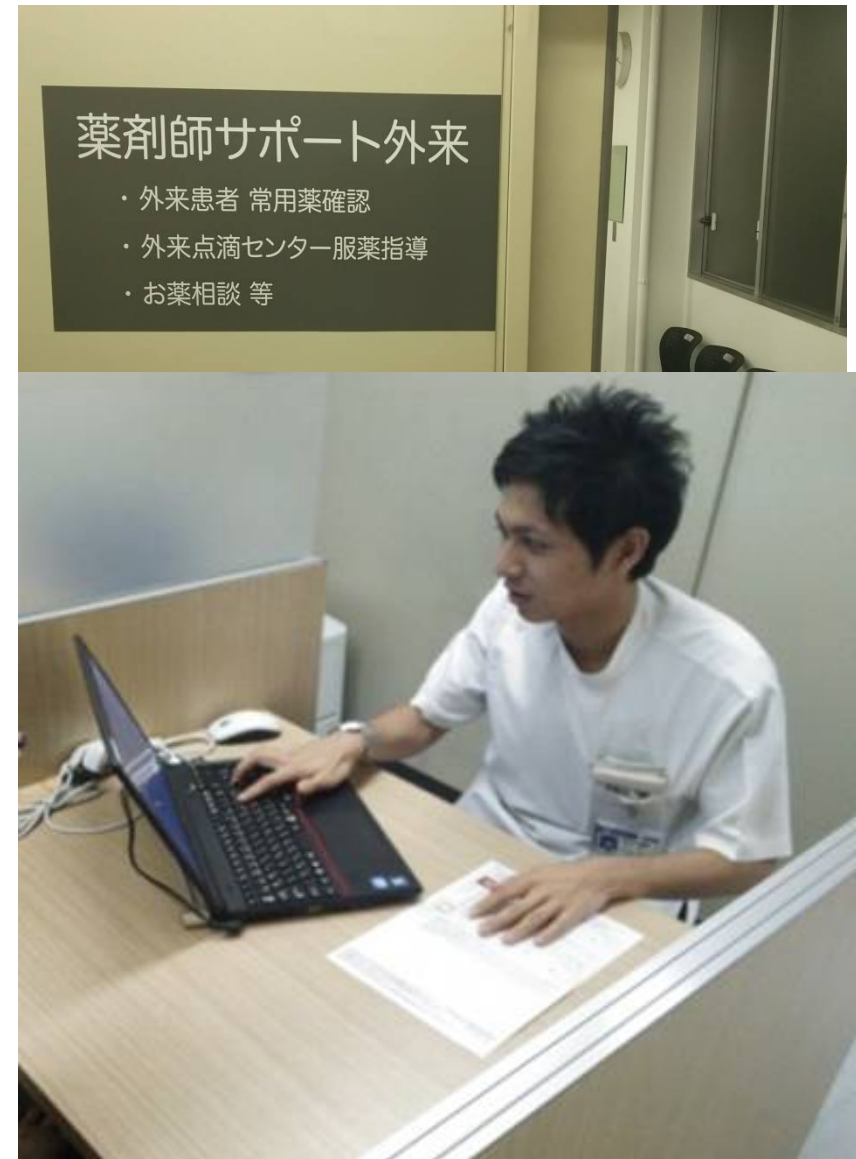


- ・院外処方枚数 14,801枚/月
- ・外来院内処方枚数 79枚/日
- ・入院処方枚数 272枚/日
- ・注射処方枚数 10,090枚/月
- ・薬剤管理指導件数 1,839件/月
- ・TPN調製件数 299件/月
- ・外来抗がん剤調製 425件/月
- ・入院抗がん剤調製 442件/月
- ・がん患者指導管理料ハ 28件/月

薬剤師サポート外来(薬剤師外来)の開設

当院では、2015年度から薬剤師サポート外来を開設し、手術・検査前中止薬剤スクリーニング業務(PFM)や外来化学療法患者の医師診察前面談を実施し、患者のラボデータ及び副作用等から患者状態を把握し、化学療法スケジュールの中止や調整、投与量の提案など医師へ情報提供を行い、医師業務の軽減に寄与するだけでなく、患者の安心・安全な薬物治療の推進に努めています。

- | | |
|-----------|--------|
| ・PFM件数 | 352件/月 |
| ・外来化学療法指導 | 61件/月 |



薬剤部 特徴

第三病院



◎5回/月程度の部内勉強会及び薬剤部カンファレンスを行い、薬剤師資質向上目的の症例報告、メーカー勉強会を開催し知識習得に励んでいます。

部外カンファレンス参加

- ・乳腺カンファレンス
 - ・腎内カンファレンス
 - ・糖内カンファレンス
- 等

◎医薬品適正使用の観点から院内全体への医薬品安全管理セミナー(3~4回/年)をはじめ、地域薬剤師会との合同勉強会(2~3回/年)、地域薬薬連携協議会(3~4回/年)を実施し、医薬品安全使用の推進、地域連携の強化に努めています。



認定薬剤師

・研修センター認定薬剤師	10名
・日病薬病院薬学認定薬剤師	3名
・がん専門薬剤師	1名
・抗菌化学療法認定薬剤師	1名
・栄養サポート(NST)専門療法士	4名
・認定実務実習指導薬剤師	4名
・がん薬物療法認定薬剤師	4名
・外来がん治療認定薬剤師	4名
・救急認定薬剤師	1名
・医療薬学専門薬剤師	1名
・緩和薬物療法認定薬剤師	1名
・糖尿病療法指導士	2名
・腎臓病療養指導士	1名
・日本DMAT隊	1名
・漢方・生薬認定薬剤師	1名
・医療情報技師	1名

学会発表・参加

- ・日本病院薬剤師会関東ブロック
学術大会
- ・日本医療薬学会
- ・日本臨床栄養代謝学会
- ・日本感染症学会
- ・日本環境感染学会
- ・日本化学療法学会
- ・日本臨床腫瘍薬学会
(2016年優秀演題賞受賞)
- ・日本緩和医療薬学会
(2017年優秀発表賞受賞)



薬剤部紹介



薬剤部環境

第三病院

一言で「**アットホーム**」な環境です。なんでも話し合え、公私ともに充実した環境で、常に一致団結し日々頑張っています。





東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部



アクセス

JR常磐線・東京メトロ千代田線

北柏駅南口より

徒歩：約10分(約800m)

バス：北柏駅南口バス停、慈恵医大柏病院行、終点下

所要時間：約5分、バス停前が病院



柏病院の概要

東京慈恵会医科大学附属柏病院は、昭和62年に千葉県柏市郊外に開設され、地域の中核病院として高度医療を実践するとともに医学部の教育機関としての役割を担う病院です。

救命救急センター
地域がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院

- ・診療部門 : 28診療科(部)
- ・許可病床数 : 664 床
- ・平均外来患者数 : 約1,492名/日
(2019年度)
- ・薬剤師数 : 39名



柏病院の特徴

救命救急センター



- ・・・平成24年4月に開設された救命救急センターは、東葛地区を中心とした救急医療の最後の砦として、3次救急（命を脅かす重症であり速やかな治療を要する状態）患者さんを中心に24時間体制で治療を行っています。

地域がん診療連携拠点病院

- ・・・柏病院では、平成20年2月8日に千葉県東葛北部医療圏で地域がん診療連携拠点病院に指定されました。

地域災害拠点病院

- ・・・国内において、地震・津波・台風・噴火等の災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する東葛北部地域唯一の病院として、平成8年8月に指定されました。



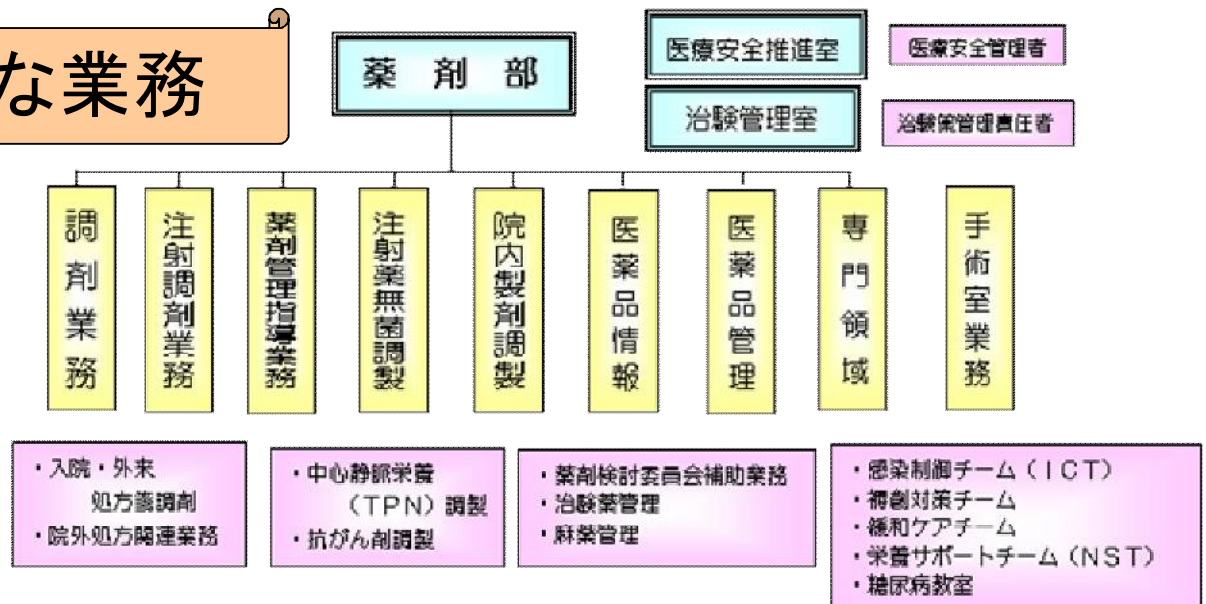
柏病院 薬剤部のビジョン

社会状況の変化に対応して安心安全な薬物治療を提供し、患者の医療ニーズに応えることができる質の高い薬剤師を目指す。

サブテーマ

電子カルテ、部門システムを活用して業務の効率化を図りながら、医療の質向上を目指す。

薬剤部の様々な業務



柏病院



外来調剤(院内) 約 89 枚/日
入院調剤 約 398 枚/日



抗がん剤調製
外来・入院 約 46 件/日



薬剤管理指導業務(服薬指導)
約 65 件/日



注射薬自動払い出し機



TPN調製 約 18 件/日



チーム医療(病棟にて)



注射調剤 約 670 枚/日



医薬品情報室(DI)



医薬品管理(定期点検)

専門認定薬剤師

柏病院

日本薬剤師研修センター	研修認定薬剤師	16名	
	認定実務実習指導薬剤師	12名	
	小児薬物療法認定薬剤師	1名	
日本病院薬剤師会	認定指導薬剤師	5名	
	がん薬物療法認定薬剤師	3名	
	感染制御認定薬剤師	3名	
日本医療薬学会	医療薬学専門薬剤師	1名	
臨床救急医学会	認定薬剤師	1名	
糖尿病療養指導士認定機構	糖尿病療養指導士	4名	
日本臨床栄養代謝学会	栄養サポート専門療法士	1名	
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療認定薬剤師	2名	など

柏病院



調剤室(内用・外用)



注射調剤室



無菌調製室



病棟業務(薬剤部)



医薬品情報部門(DI)



麻薬管理部門



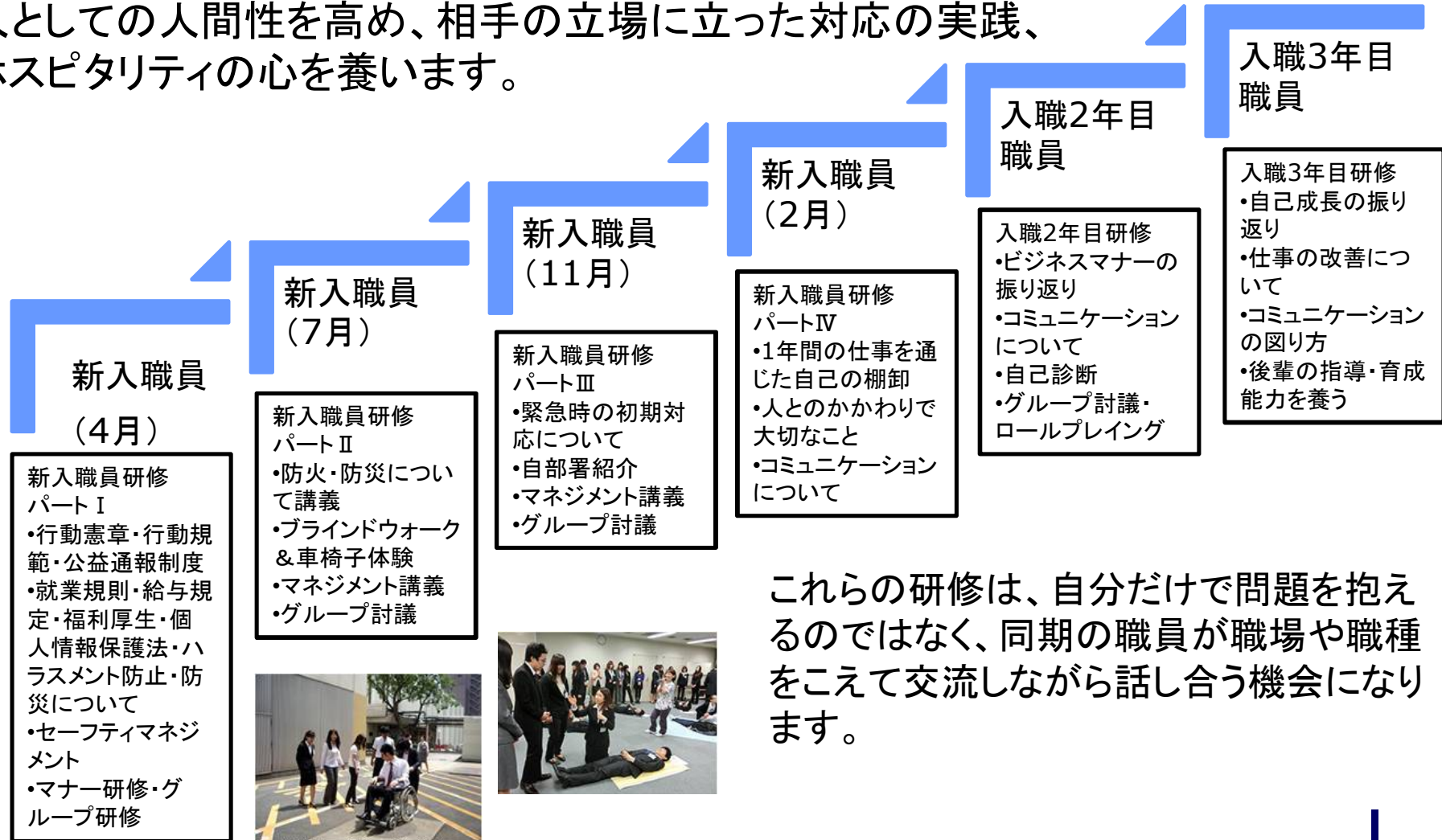
お薬渡し口



慈恵医大における キャリアアップについて

キャリアアップ研修

職員として学内の基本的な諸規則を踏まえ、患者満足度の高いコミュニケーションの取り方などを身につけながら、社会人としての人間性を高め、相手の立場に立った対応の実践、ホスピタリティの心を養います。



医療安全



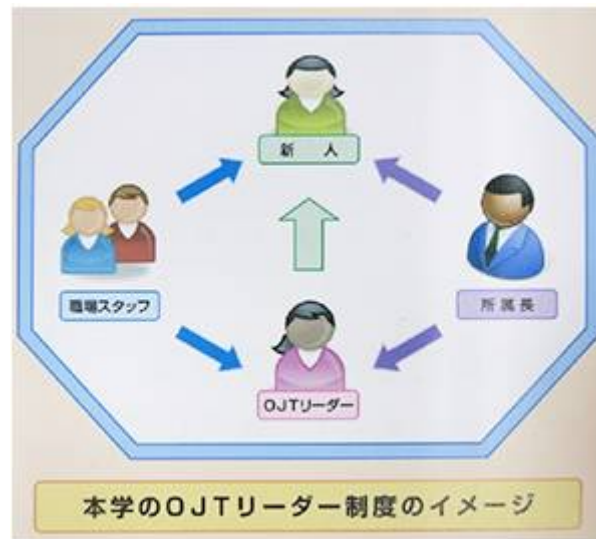
- 医療安全推進部と感染対策部からなる医療安全管理部門を設置し、医師・看護師・**薬剤師**・事務員を専任で配置され、組織の枠組みを超えて活動しています。
- 医療安全管理部門では病院における安全管理体制の確立と医療事故防止ならびに感染対策を徹底するために、情報収集・分析、改善策の立案、教職員への研修等を通じて、“安全な医療の更なる推進”と“教職員一人ひとりの安全意識の向上”に努めています。



医療安全
Team STEPPS研修

OJTリーダー制度

現場教育



OJT (On the Job Training)とは日常の職場の中で、日常の業務を遂行しながら、仕事に必要な知識・技能・態度について計画的にレベルアップを図っていく教育訓練体制のことです。

就職して間もない新入職員が、基本的な知識やスキル、社会人としての責任感や協調性などを早く、確実に身に着けていくために重要なことは身近に適切な指導者がいることと考えています。

- ・OJTリーダーを中心に職場全体で新入職員を育成する支援体制を設けています。
- ・OJTリーダーには、研修を通じて適切な指導、育成方法を学んだ職員が任命され、新入職員一人ひとりにあった育成スケジュールを立て、計画的に日々の業務の中で指導に当たります。
- ・所属長や職場のスタッフもOJTリーダーと連携を取り、時には直接新入職員を指導するなど、職場全体で新入職員とOJTリーダーとのマンツーマンの指導。育成環境を整え、成長をサポートします。

薬剤部の新人教育



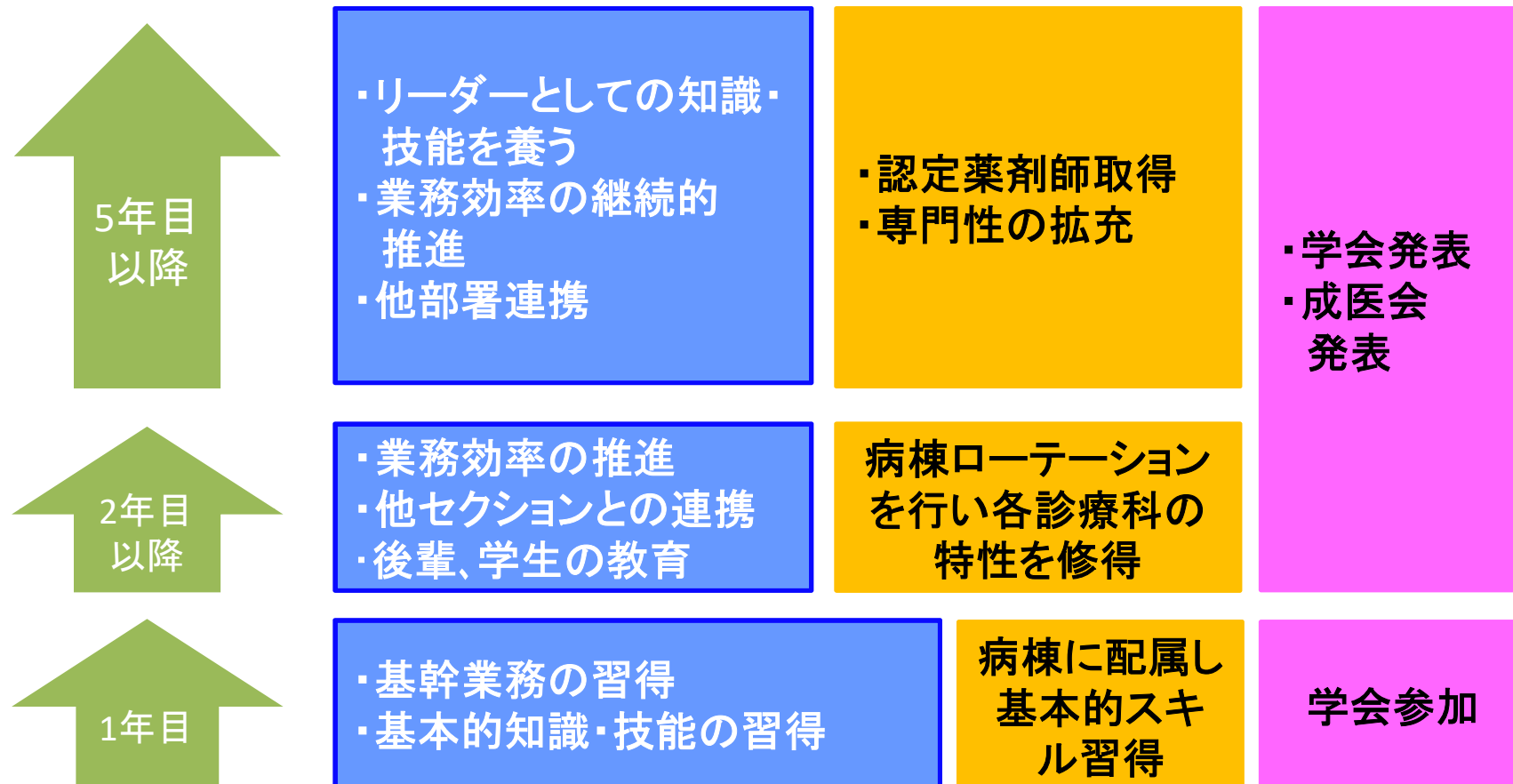
内容・項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
1	処方箋調剤	「処方箋調剤が一人で正しくできる」 計数・針量調剤⇒一包化調剤、与薬業務 ⇒処方監査（疑義照会）⇒調剤監査			「当直業務一人で行うことができる」 麻薬注射受渡し⇒見習い当直⇒日当直 「調剤室使用薬品の補給ができる」			「処方箋調剤について実務実習生を指導することができる」					
2	薬品払出	「薬品の払出業務が適切にできる」 臨時請求対応、病棟常備薬の準備⇒外来定備薬 の払出⇒手術室カートセット⇒向精神薬ラウンド 「納品検品が一人でできる」			「向精神薬・筋弛緩薬の在庫確認ができる」								
3	注射調剤・無菌調製	「注射薬の取り揃えが一人で正しくできる」 一般病棟⇒小児病棟⇒手書き指示⇒ICU等 「返却薬の整理が適切にできる」			「最終監査が一人で正しくできる」 一般病棟⇒小児病棟⇒手書き指示⇒ICU等 「定時処方の締め処理が一人でできる」			「注射調剤について実務実習生を指導することができる」 「栄養輸液等の無菌調製の準備、調製が正しく できる」					
4	抗癌剤調製							「抗癌剤調製手順を理解し混合調製ができる」 「外来化学療法室との連携が適切にできる」					
5	病棟業務							「病棟業務に必要な基本的な技能・態度・知識を 確認する」					
イベント		4月:新入職員研修Ⅰ、薬剤部新人歓迎会 6月:薬剤部連合会懇親会			7月:新入職員研修Ⅱ			11月:新入職員研修Ⅲ 2月:新入職員研修Ⅳ、薬剤部新年会					
自己学習													
共通 項目	社会人としての マナー・心がけ	<ul style="list-style-type: none"> ・業務全般に渡り意欲を持って打ち込む ・適切な言葉遣い、人が好感を持つ対応を心がける ・物事の内容を理解し、業務担当者に引継ぐなどの対応を的確に取ることができる ・個々の知識・技能を一つ一つ適切に理解、習得する ・チームワークの意識をもって職場環境を理解する 				<ul style="list-style-type: none"> ・業務やその他の物事の主旨を理解し、自己の中で対応の方法を考えることができる ・物事の根拠、関連などを意識して理解を深める ・関連業務なども自発的に行う 				<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場にたって、質問や依頼の趣旨に沿った対応ができる ・自己の業務理解の範囲内で的確な処理ができる ・業務、問題改善意識を持ち、その事項の提案を心がけ、改善方法などの指示を仰ぎ、援助を受けながら業務遂行する 			
参 考	項目、工程ごとに知識・技能・態度についての到達目標が設定されています。それぞれの業務について該当する到達目標をクリアすることで次のステップへ進む仕組みです。上記は目安でスケジュールの関係や習得状況で前後する場合があります。												

- ・年間教育計画が定義され、到達目標が示されて新入職員とOJTリーダーで共有し、カリキュラムに従い、1年間をかけて通常業務ができるように研修を行います。
- ・教育担当者を中心に、きめ細かなフォローを行います。

薬剤部におけるキャリアアップ

大学病院に相応しい薬剤師を一人一人の希望を配慮し対応することで、本人のモチベーション向上につながり、如いては薬剤部全体のボトムアップへつながります。

「薬物治療の安全確保の向上」、「臨床薬剤業務への積極的関与」、「専門・認定薬剤師としての活動」、「継続的な薬学的管理」など、必要とされる薬剤師の育成に4病院が連携し努めています。



出身大学(附属4病院薬剤部)

- 明治薬科大学
- 東京薬科大学
- 東京理科大学
- 東邦大学
- 日本大学
- 星薬科大学
- 北里大学
- 慶應義塾大学
- 共立薬科大学
- 武蔵野大学
- 昭和大学
- 昭和薬科大学
- 城西大学
- 城西国際大学
- 帝京大学
- 横浜薬科大学
- 東北薬科大学
- 北海道医療大学
- 金沢大学

よくあるご質問(Q & A)

Q. 採用は希望の病院に配属されますか？

➤就職試験の際に配属希望を確認し、可能な限り希望病院への配属を心掛けていますが、4機関の人員状況を考慮したうえで、最終的に配属先を決定していきます。

Q. 1年目の教育はどのように進められますか？

➤「新人教育計画」にそって進められます。入職後の3ヵ月間は知識、技能の習得を最優先に教育が行われます。調剤、注射、薬品の管理や供給などひと通り学んだあと当直業務を開始していきます。

Q. 職員研修の実施方法はどのように行われますか？

➤薬剤師に関する研修は、OJT制度を活用し施設ごとに教育研修を行っています。マナー研修など教職員全体に関わる内容は、多職種で集まり附属病院内で行っています。

Q. 病棟業務の担当はどのように決定されますか？

➤1病棟あたり複数の診療科病床があり、様々な症例を経験しスキルアップが図れるよう定期的に病棟をローテーションしています。

Q. 結婚や出産後も仕事を続けていける環境は整っていますか？

➤結婚・出産後も継続して勤務しているスタッフは各病院にいます。なお、産休・育休の取得についてサポートする学内の各種制度があるため、制度を利用するスタッフは近年増えてきています。

2021年度職員募集要項

学校法人 慈恵大学
総務部人事課

2021年度 募集要項

・応募資格

2021年3月に薬剤師養成機関卒業見込みの方
(薬剤師免許取得が採用の条件となります)

・応募書類

履歴書 (本学指定)	成績 証明書	卒業見込 証明書	エントリー シート
○	○	○	○

*履歴書には、必ずPCから返信可能なEメールアドレスを
ご記入ください

応募締切：2020年7月25日(土) 必着

2021年度 採用試験

- **一次試験**

日 時：2020年8月11日（火）

午前9時20分集合

会 場：大学1号館講堂（3階）

選考科目：専門筆記・適性検査・小論文

- **二次試験**

日 時：2020年8月20日（木）

選考科目：面接

待 遇（正職員）

- 基本給 本棒（新規卒業者：6年制学部卒）
月額220,500円
- 諸手当：時間外手当（時間給の25%割増）
通勤手当、日当・宿直手当、
住宅費補助手当、扶養家族手当等
- 昇 級：年1回
- 賞 与：年2回（6月、12月）
- 退職金：退職金支給規程により支給

勤務体制

- 基本 9：00～17：30（実働7.5時間）
（機関により勤務時間帯が異なる）
- 夜勤 16：30～翌日9：30（本院のみ）
- 当直 9：00～翌日12：30（仮眠あり）
（機関により勤務時間帯が異なる）
- その他 早番（8：15または8：30～）
担当部署によっては、シフト勤務があり

休日・休暇

- 日曜日・祝日
 - 指定休日（月3～4回 年間42日）
 - 創立記念日（5月1日）
 - 年末年始
 - 有給休暇 最高21日（1年間繰越可能）
（初年度10日（4/1付与）、2年目15日、
3年目16日、4年目以降21日）
 - その他 慶弔休暇、産休、育児・介護休職等
- ※休日は振替休日制を実施

福利厚生・教育研修

- 健康管理：年2回定期健康診断を実施
- 保養所：本学の契約保養所及び私学共済事業団の保養所あり
- レクリエーション活動：新入職員歓迎行事、納涼大会、文化祭等
- 貸与被服：白衣
- 教育研修：勤続年数・職級等に応じた各種研修自己啓発援助制度あり

おわりに

東京慈恵会医科大学附属病院では、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、「病院説明会・施設見学会」の開催を中止とさせていただきます。

政府による緊急事態宣言は全国で解除されましたが、参加者の皆様の健康と安全を第一に考慮した結果、安心して参加いただける段階にはないと判断いたしました。

学生の皆様には大変ご不便をお掛けいたしますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

ご質問については、メールにて対応させていただきますので、
当院薬剤部宛にメールでお問い合わせください。

<問い合わせ宛先アドレス>

honin_yakuzaibu@jikei.ac.jp

採用試験の応募締切日は7月25日(土)となります。(人事課必着)

詳細は、慈恵大学HP職員採用情報「2021年度職員募集要項」をご覧ください。